

# 支部長および支部組織紹介と活動方針

(会員数は会誌送付先による分類)

## 北日本支部 支部長 松本謙一郎



(1997年設立) 北海道・青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島  
正会員 129, 学生 20, 団体 13, 賛助 1

北海道大学大学院工学研究院 (〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目)  
TEL. 011-706-6610 E-mail: mken@eng.hokudai.ac.jp  
副支部長: 尾高雅文, 庶務: 田島健次, 会計: 大井俊彦, 広報: 吹谷 智  
編集: 杉森大助, 支部監事: 魚住信之・湯本 勳

このたび、東北大学魚住信之先生の後任として北日本支部長を仰せつかりました北海道大学の松本謙一郎です。北日本支部は、担当面積では国土の約4割を占める最大の支部であり、これまで広いエリア内で活動する会員が交流、連携できるように力を尽くしてきました。昨年度は、研究者交流活動が大幅に制限される一方で、オンラインでの支部シンポジウムや合同ゼミが企画されるなど、距離の概念が変化し、新しいコミュニケーションの方法も試みられています。また、北日本支部のエリアでは地域性を生かした産学連携のポテンシャルも高いです。これまでの北日本支部の活動を継承しつつ、とくに学生や若手研究者が研究者間の交流を持ち、研鑽を積めるような機会を創出していきたくと考えております。皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 東日本支部 支部長 上田 宏



(1965年設立) 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・山梨  
正会員 773, 学生 68, 団体 50, 賛助 40

東京工業大学科学技術創成研究院 (〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259)  
TEL. 045-924-5248 FAX. 045-924-5248 E-mail: ueda@res.titech.ac.jp  
副支部長: 田中 剛・越智 浩, 庶務・会計: 亀谷将史, 企画・広報: 鈴木市郎・大槻隆司  
編集: 鈴木市郎, 支部監事: 木野邦器・佐久間英雄

このたび筑波大学青柳秀紀先生の後任として東日本支部長を仰せつかりました東京工業大学の上田宏です。これまでの東日本支部の理念や伝統を継承し、(1) 他の学会にない日本生物工学会の独自の研究・学問領域の開拓と強化、(2) 学生(留学生も含む)、産官学の若手研究者にとって魅力ある支部(学会)活動の推進、(3) 生物工学関連産業界との連携強化、を活動方針として、生物工学フォーラム、学生発表討論会、賀詞交歓会、ポスター発表会を含めた日本生物工学会東日本支部コロキウムなどの行事を開催します。また、生物工学の基礎、応用、技術の進歩に寄与した、若手の東日本支部所属本会会員に対し、日本生物工学会東日本支部長賞を授与しています。昨年来、コロナ禍の困難な状況ではありますが、これらの支部活動を通して本会と生物工学関連産業の発展に少しでも貢献したいと思っております。皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 中部支部 支部長 田丸 浩



(1994年設立) 長野・静岡・愛知・三重・岐阜・富山・石川・福井  
正会員 247, 学生 52, 団体 10, 賛助 8

三重大学大学院生物資源学研究所 (〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577)  
TEL/FAX. 059-231-9560 E-mail: ytamaru@gifu-u.ac.jp  
副支部長: 堀 克敏, 庶務: 湊元幹太, 会計: 岡崎文美, 編集: 中谷 肇  
支部監事: 高木昌宏, 福崎智司

このたび岐阜大学鈴木徹先生の後任として中部支部長を仰せつかりました三重大学の田丸浩(たまるゆたか)です。中部支部では例年、夏の支部例会、CHUBU懇話会に加えて、一昨年度から国際シンポジウム“Sakura Bio”を開催してきました。支部例会では招待講演と博士課程学生やポスドクの方々による講演発表も行っており、優秀発表者には支部長賞を授与しております。CHUBU懇話会は、中部地方に工場や研究所を有する企業と一緒に開催している企業訪問と講演の会です。多数の学生も参加しており、地元の企業研究の場としても有効に活用されています。さらに、Sakura Bioは毎年3月末のお花見の時期に、すべて英語で行うミニシンポジウムを開催してきましたが、コロナ禍で今年度は5月29日にオンラインで開催しました。また、ニュースレターとして、BB-Chubuを年数回配信発行しています。主に新任の教員/ラボ紹介などの記事も掲載しますので、ぜひご一読ください。中高生対象のバーチャル実験講座やミニシンポジウムの開催、北陸バイオシンポジウムをオンライン共催を行う予定です。新たな生物工学の研究者+学生を育て、企業と社会につなげていく支部にしたいと考えます。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2021年6月1日より支部長および支部組織が変わりました。  
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

関西支部  
支部長  
大政 健史



(1993年設立) 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山  
正会員 465, 学生 49, 団体 15, 賛助 38

大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 (〒565-0871 吹田市山田丘2-1)  
TEL. 06-6879-7938 E-mail: omasa@bio.eng.osaka-u.ac.jp

副支部長: 東 雅之・山田 翼, 庶務・会計: 木谷 茂, 庶務・100周年担当: 松田史生・古賀雄一,  
編集: 加藤泰彦, 企画: 尾島由紘・石井 純・岡野憲司・大橋貴生・佐藤喬章・森 英樹,  
監査: 藤山和仁・堤 浩子

このたび、大阪大学・藤山和仁教授の後任として関西支部長を拝命しました大阪大学の  
大政です。これまでの関西支部の伝統を引き継ぎ、伝統ある「醗酵学懇話会」と、  
若手企画セミナーを開催し、学術交流・産学官連携など、若い研究者や学生を含む  
研究者間の交流を促進します。啓発基金を活用して、産学官の若手人材の国際交流を  
促進し、グローバルに展開できる支援を続けます。また今期は学会の百周年記念大会・  
事業があり、積極的に貢献する所存です。これまでも増して皆様のご支援とご協力をお願ひ申し上げます。

西日本支部  
支部長  
芦内 誠



(1982年設立) 岡山・広島・山口・鳥取・島根・香川・徳島・愛媛・高知  
正会員 227, 学生 25, 団体 9, 賛助 2

高知大学農林海洋科学部農芸化学科 (〒783-8502 南国市物部乙200)  
TEL. 088-864-5144 E-mail: ashiuchi@kochi-u.ac.jp

副支部長: 阿座上弘行, 庶務: 大西浩平, 会計: 村松久司, 編集: 小崎大輔  
企画: 白米優一, 監事: 櫻谷英治・高田悟郎, 顧問: 稲垣賢二

このたび、岡山大学稲垣賢二教授の後任として西日本支部長を仰せつかりました高知大学の  
芦内です。この地域で展開される生物工学の学術活動を積極的にサポートします。西日本支部では、  
中四国9県における生物工学の発展と啓蒙、学術交流や意見交換の場として、支部大会  
(講演会)を隔年開催します。また、生物工学の基礎と応用、あるいは関連技術の進歩に寄与した  
優れた若手研究者の研究を奨励するため、昨年度より新たに「西日本支部若手研究者賞」を創設  
しました。微力ではありますが、支部役員と一丸となり、研究活動の一層の充実・発展に努める  
所存です。皆様のご支援とご協力の方、なにとぞよろしくお願ひします。

九州支部  
支部長  
上平 正道



(1994年設立) 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄  
正会員 198, 学生 16, 団体 11, 賛助 2

九州大学大学院工学研究院化学工学部門 (〒819-0395 福岡市西区元岡744)  
TEL. 092-802-2743 FAX. 092-802-2793 E-mail: kamihira@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

副支部長: 榊原陽一, 庶務: 井嶋博之, 会計: 河邊佳典, 編集: 伊東祐二・坂本 寛  
企画: 馬場健史・外山博英・仲山英樹・林 圭・岡 拓二・玉置尚徳  
支部監事: 小林元太・酒井謙二

このたび、琉球大学・外山博英教授の後任を仰せつかりました九州大学の上平です。沖縄での開  
催を予定しておりました2021年度年次大会はオンラインでの開催となりましたが、魅力あるシン  
ポジウム企画を用意しておりますので、皆様の参加を心よりお待ちいたしております。これまで九  
州支部では歴代支部長のもと、支部メンバーが一丸となって支部の活性化のために、支部大会や市  
民フォーラムを毎年開催してきました。残念ながら、昨年度は新型コロナ問題によりいずれの企画  
も開催ができませんでした。本年度は支部大会を開催する予定しておりますので、多くの皆様の参加  
をお待ちしております。これまで同様、若手人材の育成、地域の産業の活性化や市民への広報活動  
などに尽力するとともに、支部会員主催の研究会や講演会などの支援を行っていきたく考えてい  
ます。今後とも皆様のご支援とご協力をお願ひ申し上げます。